

～錦江校区のコミュニティ形成へ～ コミュニティ協議会だより

令和3年3月発行 第2号
錦江校区コミュニティ協議会



安心安全一人ひとりにやさしい町錦江校区

協議会会長 九万田 昭

新型コロナウイルス感染拡大により、私たちの生活は様々な影響を受けることになりました。本コミュニティ協議会でも、5つの専門部の計画のほとんどを中止せざるを得ませんでした。そのため、校区内の子ども達が楽しみにし、また、活躍してくれていた各種行事を実施できなかったことが気の毒でした。幼稚園児から、小学校・中学校・高等学校の児童・生徒が主役となって開催されてきた「8.11 空襲の日・平和の集い」も中止することになりました。本年度は、第15回の節目であり、毎年、新しい発見もある大事な行事であっただけに誠に残念でした。今、改めて穏やかな日常がいかに貴重でかけがえのないものであるかをしみじみと感じています。

私たち一人一人が、新型コロナウイルス感染が一日も早く収束に向かうように心がけ、本コミュニティ協議会の行事も予定通りに開催できるようになることを心から願っています。

むかし遊び“ふれあい”

11月6日に錦江小学校1年生と「昔遊び」交流会を行いました。サロンで活躍している方などの協力で、かるた、お手玉、あやとり、折り紙、かかし（けんけんぱ）の5つの遊びを体験してもらいました。子どもたちからは、歓声が上がっていい交流になりました。



年末、習字に挑戦!!

時節がらコロナ対策として高学年と低学年の二組に分けて実施しました。

小学生25名の参加があり、中学生3名もお手伝いしてくれました。

初めての習字にドキドキする児童もいて可愛らしかったです。限られた時間の中でしたが、みんな楽しく書き終わりホッとしました。コロナとの付き合い方も考えながら、少しずつ子ども達と関われる時間が増えていけばいいなと願っています。

参加してくれた児童の皆さん、ボランティアの中学生の皆さん、本当にありがとうございました。令和2年12月27日開催

(青少年育成部)



須崎海岸 みんなでクリーンアップ

今年度は、コロナ禍のため錦江湾クリーンアップ作戦は秋の部一回の開催となりました。

久しぶりの清掃とあって、例年よりチリの量が多いように感じられました。

目立ったのは、ペットボトルや発泡スチロールでした。海洋汚染が叫ばれている中、お互い自然への配慮の大切さを改めて痛感します。

錦江湾クリーンアップ作戦は、毎年実施されていますが、参加者が次第に少なくなりつつあります。将来を担う子どもさんたちの参加が多くなればいいですね。

(環境衛生部)

☆ 第1回“ペタンク大会”☆

“ペタンク”って何??

フランス生まれのスポーツで、鉄の球（キュー）をホイッと転がして、得点を競うスポーツです。小学5年生からファミリー、高齢者までだれでも気軽に参加できる競技で、気力・体力づくりにはもってこい、次第にメジャーになりつつあるスポーツです。

☆小雨の中、大熱戦☆

雨模様で開催が危ぶまれましたが、どうにか実施の運びとなりました。一般の部19チーム（38名）、職域の部11チーム（22名）、ファミリーの部8チーム（16名）の参加で大盛り上がりとなりました。

地域外からの応援審判員（20名）を含め、10ブロック100名での対戦では、あちこちから歓声が沸き上がっていました。

もっと多くの人にペタンクの楽しさを味わってもらえたらいいですね。

第1回大会記念ということで、参加者には特製のタオルが贈られました。

（健康福祉部）



思ったより上手かったかな??



よし!! いけ~!

陶芸・手芸で楽しむ

この教室は、錦江校区コミュニティ協議会の成人講座として実施される事業です。

☆ 陶芸教室

8月に実施しました陶芸教室は、換気とソーシャルディスタンスに気を付け、講師に中野勝子先生をお迎えし、好きなものを和気あいあい手作りしました。

10月に作品完成。できればはどうだったかな?



☆ 布草履づくり

9月には講師に栗畑チカ工先生をお迎えし、布草履づくりに挑戦しました。

最初の片方に随分苦労しましたが、もう片方は、慣れてきたせいかスムーズにはかどりました。

草履の土台は下楠菌久之さん（木工細工）、当日は、岩原南サロンの方4名にお手伝いいただきました。



皆さんが制作された作品は、錦江校区コミュニティ主催の文化祭で出展予定でしたが、文化祭が中止となったことから来年以降の展示とさせていただきます。

（生涯学習部）

☆にしきえまつり・アンケート結果☆

第2回「まつり」開催は、コロナ禍において実施することは困難との結論に達し、中止が決定しました。

開催中止となったものの、「まつり」そのものは、人と人との絆を深め、地域をつなぐ大きな存在になり続けると思っています。

また、「まつり」は、多くの人の手助けがあって初めて成り立ち、多くのエネルギーの結集によって自分たちのものに近づいてくるものと思います。

窮屈な毎日の中での生活ですが、この地域に住まいする皆さんの力で、故郷の誇りとなるような「まつり」をつなぎ、育てていけたらいいですね。

勝手ながら、引き続き、物心両面でのご支援、ご協力、切にお願いいたします。

さて、次回以降の「にしきえまつり」のあり方について、関係者の皆さん（主に第1回まつりに携わった方々）を対象としたアンケートを昨年10月実施しました。

回答結果をご報告します。（一部抜粋）

☆「にしきえまつり」アンケート調査☆

回答者構成

年齢	30代	40代	50代	60代	合計
人数	1	6	7	8	22

質問 1. <催し物について>

- ① 錦江校区紙ヒコーキ選手権（距離の部と飛行時間の部）
- ② 雨天時に道路沿いに出店した方が気の毒でした。
- ③ ジャンケン大会、レクリエーション、かくし芸大会
- ④ 何か、体験型の催し物があると良い。
- ⑤ 子ども達の絵や習字などを募集して飾り、子ども、保護者、祖父母にも来場してもらおう。
- ⑥ じゃんけんゲームみたいのがあると子どもも、もっと遊べたと思う。

- ⑦ 手作りする方の展示・即売会
- ⑧ その場で川柳大会（賞品あり、当日使える商品券とか）
- ⑨ 抽選会を実施し、出店ブースの販売商品を賞品としては。
- ⑩ のど自慢大会
- ⑪ 綱引き
- ⑫ 外で行える催し物を多くした方がよいのではないか。密防止のため。
- ⑬ ニュースポーツの体験コーナー
- ⑭ 子ども・親で楽しめるワークショップ
- ⑮ 加治木の歴史・名所について知ろう。
- ⑯ 各学校の紹介ブース
- ⑰ かじきまんじゅう早食い競争
- ⑱ にしきえ Gari と Boy を決める！ゲームで。
- ⑲ ビンゴゲーム大会
- ⑳ 体を使ったスポーツイベント（バターゴルフ）

質問 2. <まつり運営・開催時期について>

- ① 雨天の場合の対策を。
- ② 中学生や高校生、20代の若い人にも企画運営に参加してもらおう。
- ③ 人の流れを考慮したお店のレイアウトを。
- ④ 市やコミュニティ事業との調整を図りながら決定しては。
- ⑤ 今年は残念でしたが、次回開催を楽しみにしております。
- ⑥ 開催時期（希望）について

開催時期	4月	10月	11月	12月	合計
人数	1	3	3	2	9

ご意見ご希望ありがとうございました。
今後の「まつり」運営に生かしてまいります。
なお、「まつり」に関してのアイデア等がありましたら、引き続きお受けします。
コミュニティ事務局までお知らせください。

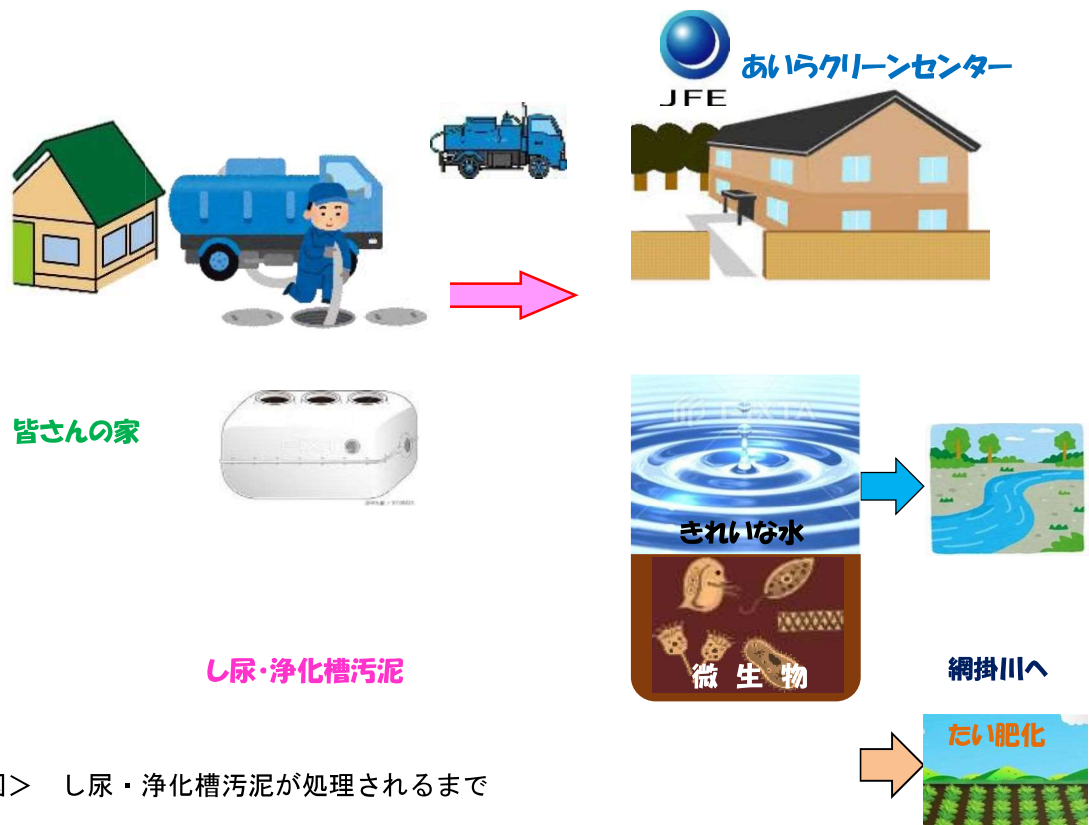
錦江校区コミュニティ協議会
TEL73-6351（月・水・金）
発行責任者 九万田 昭

🌸 地元の会社紹介 (No.3) 🌸

私共、JFE エンジニアリング株式会社及び JFE 環境サービス株式会社は、平成27年度より、「あいらクリーンセンター」の維持管理を行っております。あいらクリーンセンターでは、始良市内の各家庭や事業所等から収集されたし尿・浄化槽汚泥を処理しています。

【施設の特徴】

し尿・浄化槽汚泥は、バキューム車であいらクリーンセンターに搬入されます。し尿・浄化槽汚泥は自然界に広く分布する微生物を利用して浄化され、さらに活性炭を通すことで無色無臭の環境にやさしい処理水として網掛川に放流しています。処理の過程で発生する汚泥はたい肥化することで資源を有効利用すると同時にCO₂の削減も図っております。



< 私どもの地域活動 >